

六ヶ所村立郷土館事業 ふるさと歴史散歩

目代館・館の上大砲場ツアー

日時 11月3日（水・祝）9:30~12:30

※各自、自家用車で見学場所へ移動します。

内容 泊地区にある中世の平山城と考えられている「目代館」と、江戸時代に盛岡藩の海岸防備のため設置された「館の上大砲場・御番所跡」を見学します。



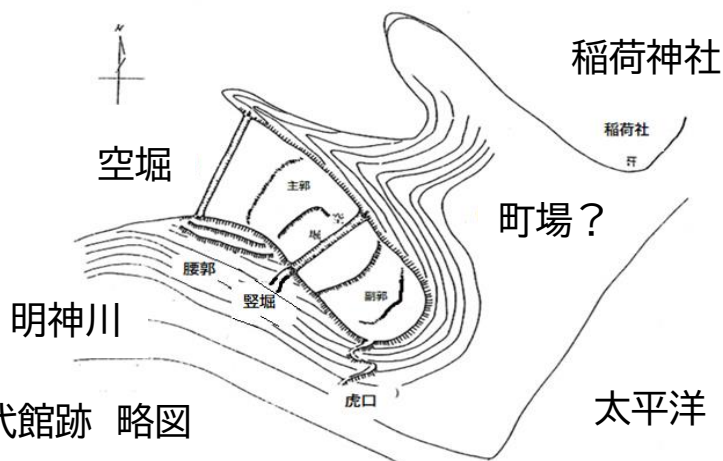
目代館遠景



館の上砲台場跡から中山崎を望む

目代館は、蠣崎の乱の音波城か？

目代とは南部の代官！



目代館跡 略図

「青森県の中世城館」より引用

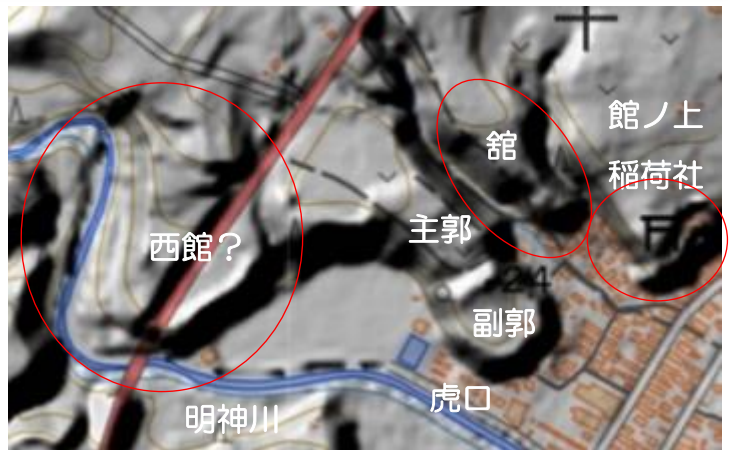
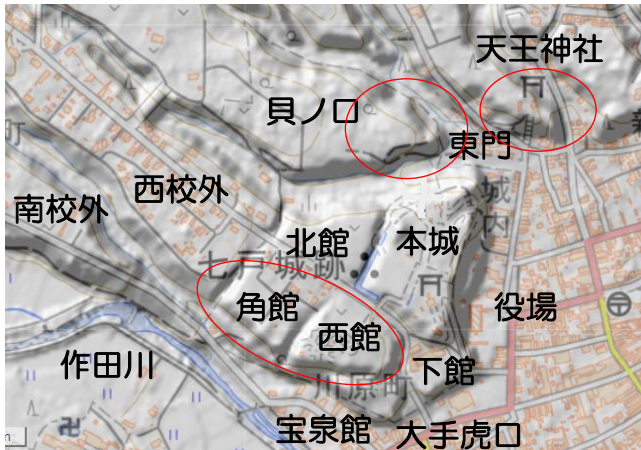
中世の音波城ではないかといわれている目代館は、太平洋につきだすような舌状台地の上にあり、東から副郭と主郭、その間に空堀がある。登り口である虎口や中世の城の特徴である堅堀がみられる。西側の空堀が現在ではなく、南側に腰郭が残っている。

南には、明神川が流れ、北の稲荷神社も関連した施設といわれ、その間に町場が発達していたと思われる。



目代館跡 航空写真 国土地理院

目代館は、多郭構造の平山城か？ 七戸城とそっくり！



七戸城跡 航空写真起伏陰影図

目代館跡 航空写真起伏陰影図

国土地理院 HP より引用 1975 年

国土地理院 HP より引用 1975 年

中世の南部氏は、多郭構造の城づくりを得意としていた。七戸町にある七戸城は、まさに多郭構造の平山城である。

①南に作田川 ②北東に天王神社 ③その間が貝ノ口
目代館に当てはめると、

①南に明神川 ②北東に稲荷神社 ③その間に館がある。

東に役場や町場があり、虎口も南側にあることまで同じである。七戸城の本丸は北館ではないかといわれていて、そうになると目代館の主郭と副郭の関係と同じになる。

ますます目代館の西側が気になる。残念ながら 338 号線のバイパスが貫いていて、家が建てられているが、七戸城の西館や角館のような郭や館があったように推測される。まさに、七戸城と似ている多郭構造や南部氏の代官を表す「目代」の館といわれていることも何らかの関連が考えられる。



三段になっている主郭



東側の空堀



南側の豎堀